



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 22 (2016年6月発行)

チェルノブイリ事故 30 周年、ウクライナを訪ねて

1986年4月26日にチェルノブイリ原子力発電所で起きた事故は、多くの人々だけでなく国の運命をも変えましたが、私たちが2012年に福島にお招きしたボリス牧師もその一人でした。事故後30年のウクライナを訪問した私たち(神田、柳沢、陣内)は、政府をはじめ様々な団体が主催する追悼のセレモニーに参加し、ボリス牧師らのユダヤ人キリスト教徒の会衆(KMJC)のメンバーとの交流を持ちました。

チェルノブイリ原発事故は続くグラスノスチ(情報開示)およびソ連邦の崩壊の遠因になりました。つまり、1. 人間の科学技術、2. 官僚統治機構、そして3. マルクス唯物論に基づく「人間中心主義」の挫折の象徴とも言えます。時のソ連政府の隠蔽によって対応が遅れたためその被害は甚大で、多くの人々に現在に至るまで心身の傷跡を残しています。一方で、チェルノブイリ周辺では絶滅危惧種などの野生動物が観察され、「自然の王国」とも言える様相を呈しており、「自然界にとって最も恐ろしかったのは原発よりも人間だった」と現地の人々は語っていました。人が作ったものの脆さと、それとは対照的に神が造られた自然の逞しさを感じつつ、犠牲者のための追悼を捧げました。



チェルノブイリ原発事故犠牲者の追悼式典

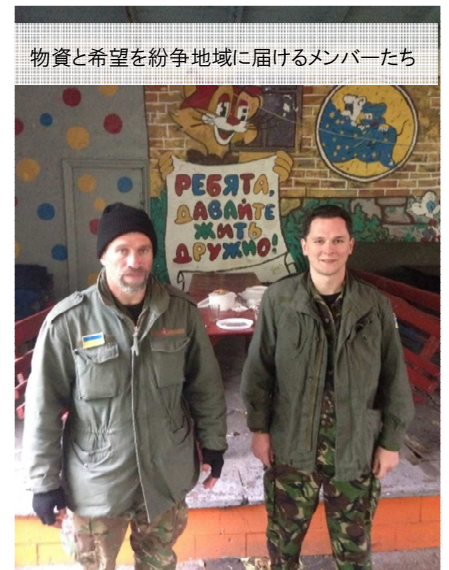
現地で感じたもうひとつの事は、事故後30年間のウクライナという国の歩みの険しさです。2014年2月に起きた市民によるデモ行進に対し軍隊を出動させ80名以上の市民の犠牲者を出した親ロシア派のヤヌコヴィッチ前大統領はロシアに亡命し、現在は親欧州派のポロシェンコ氏が大統領です。東部ではいまでもロシア軍が支援する分離派との軍事衝突が続いています。「国家存亡の危機」に晒され続けてきたこの二十数年間、「遠い過去の原発事故」は人々の心のなかで相対的に小さな問題になってきているのを皮膚で感じ、逆に「日本の平和さ」を改めて思い知らされました。ポスト冷戦構造後に再び帝国主義化したとも言われる現代の世界には、「当然、来年も国が存在するだろう」という、私たちにとって空気のように当たり前の平和を奪われた人々も大勢いることを教えられ、平和を祈ることの必要を再確認させられました。



東部で孤立した人々を救う働きをしているKMJCメンバーたち

ウクライナ紛争地域：「声なき残留者」を支える活動に協力

21世紀の新たな覇権主義を象徴するようなロシアのクリミア併合に始まるウクライナへの介入が続いています。2015年2月にウクライナ政府と分離派の間で停戦合意がなされたものの断続的に激しい戦闘が続き、東部の一部ではウクライナの主権が及ばない非合法状態が続いています。FVIは、KMJCと協力して東部紛争の「声なき人々」に関わることを決定しました。KMJCは、武装勢力に支配された故郷の町に残ることに決めた人々を励まし、慰め、必ずこの紛争は終わるという希望と祈りを提供する人を派遣し、生活必需品も届けています。人間の理性では対応しきれない暗闇の破壊的な力が圧倒するなかで「混乱すべてを超えて働いておられる愛と平和の神がいるから、私たちはその希望を届けに行く。」と語る彼らの言葉に、21世紀型の紛争という新たな課題に、人が考えるものを超える上からの「希望」の力強さを感じました。



福島県の帰還困難区域での働きの報告



原発事故によって放射能で汚染された家畜の殆どは、人間の役に立たなくなったという理由で殺されていきました。殺処分を逃れた牛たちを集めて世話をしているひとりの女性の働きを知るようになって以来、FVIは小さな協力をさせてきていただいています。この牛たちのために、伸び放題の雑草に覆われた大熊町姥神に農地を提供いただき、手作りの「牧場」ができました。福島に重荷を持つアーティスト・稲田夫妻のご労によって看板が完成しました。また、「福島オリーブ・プロジェクト」のご協力をいただいて、オリーブ苗木10本が植樹されました。

その他の活動（2016年3～5月）

バングラデシュ訪問、ウクライナ・チェルノブイリ事故30年追悼訪問、Kiev International School、放置牛の牧場管理の手伝い（福島県大熊町）、那覇バプテスト教会、World Mission Christian School、喫茶「CoCoRo」、嘉手納アッセンブリー教会、ヘブンズチャーチ、胡屋バプテスト教会、沖縄中部朝拝会、沖縄611霊糧堂世界宣教教会（以上沖縄県）、いのちの樹教会、埼玉西武朝拝会（以上埼玉県）、小さないのちを守る会、万座温泉フロアショー（群馬県）、練馬グレースチャペル（東京都練馬区）、立川福音自由教会（東京都立川市）、東京武蔵野福音自由教会（東京都武蔵野市）、ICBC（愛知県蒲郡市）、信愛キリスト教会（愛知県豊川市）、津田キリスト教会、クリエイト・インターナショナル・クリスチャンスクール（香川県さぬき市）、などでFVIカタリストが奉仕させていただきました（順不同）。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行の口座もご利用いただけます。お問い合わせください。

*このレターは、希望された方に郵送させていただきます。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。
*国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email:info@karashi.net 090-3036-2776（神田）